

## 吾妻山の火山活動解説資料（平成 24 年 1 月）

仙台管区気象台  
火山監視・情報センター

大穴火口の噴気活動はやや高い状態が続いています。  
火山性地震はやや多い状況で経過しました。  
ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。引き続き、火口内では火山ガスの噴出がみられますので警戒が必要です。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

## ・噴気など表面現象の状況（図 2～3、図 5～7）

上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）からの噴気の高さは、50～200m で経過し、噴気活動はやや高い状態が続いています。

18 日に陸上自衛隊東北方面総監部の協力により実施した上空からの観測では、大穴火口及び八幡焼付近の噴気及び地熱域<sup>1)</sup>の状況に特段の変化は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

## ・地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震は、やや多い状況で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

## ・地殻変動の状況（図 8～9）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

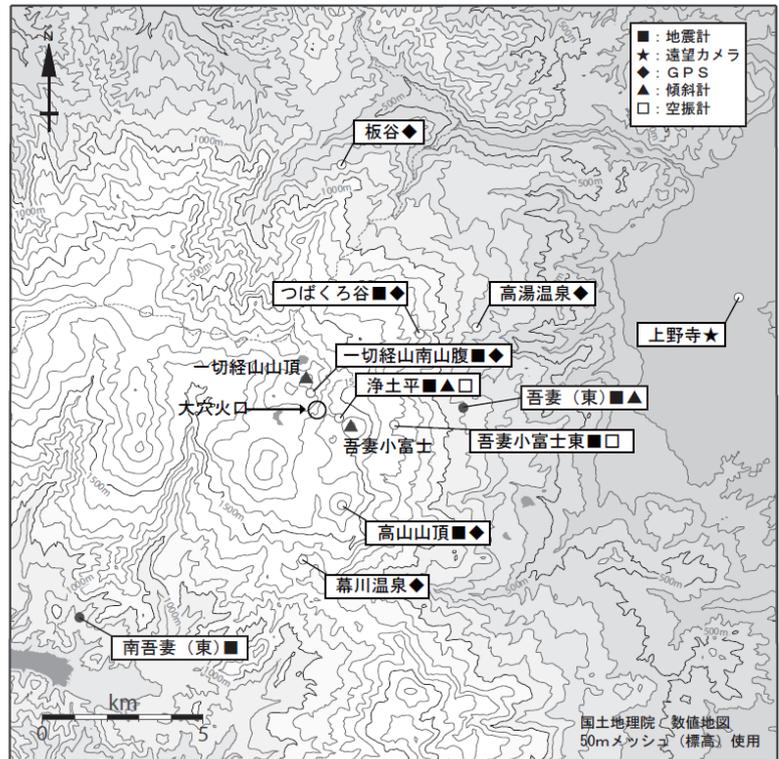


図 1 吾妻山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

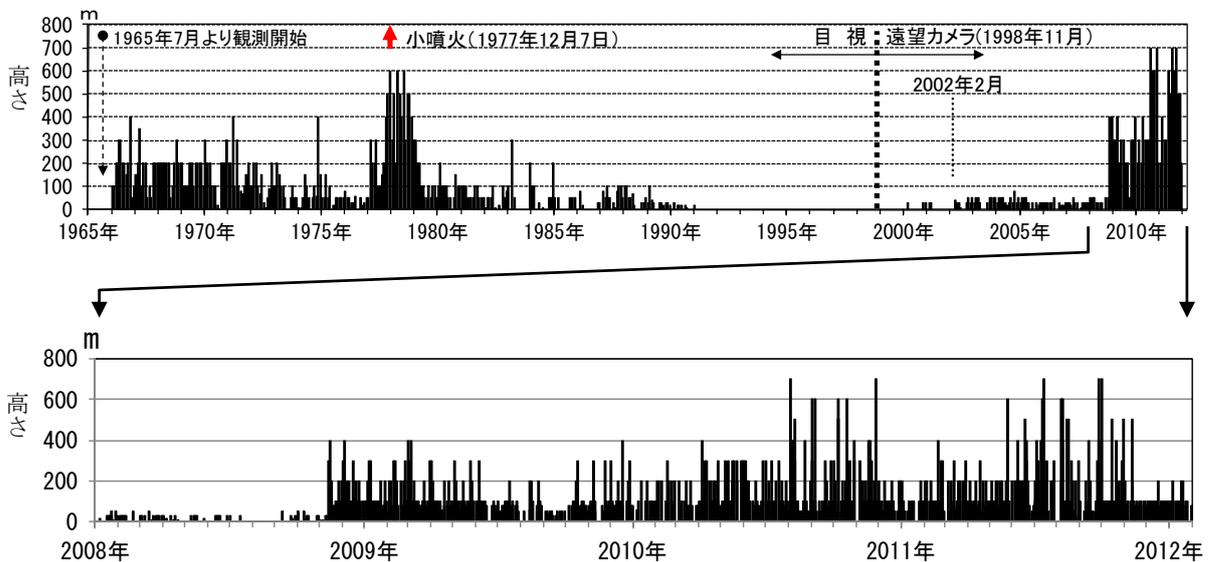
（東）：東北大学

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 2 月分）は平成 24 年 3 月 8 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。



**図 2 吾妻山 大穴火口からの噴気の状態（1月18日08時42分頃）**  
 福島市上野寺（大穴火口から東北東約14km）に設置してある遠望カメラによる。  
 実線赤丸で囲んだのが、白色噴気で高さは200m。



**図 3 吾妻山の噴気の高さ** 上段：月別最大噴気（噴煙）高（1965年7月～2012年1月）  
 下段：日別最大噴気高（2008年1月～2012年1月）

1998年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約20km）からの目視観測です。  
 1998年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約14km）による観測です。  
 2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。  
 2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。  
 2010年8月3日、11月27日、2011年7月13日、9月26日、9月29日に一時的に700mを、  
 2010年8月31日、9月5日、10月6日、10月18日、2011年5月24日、7月12日、  
 8月6日、8月7日に一時的に600mを観測しました。

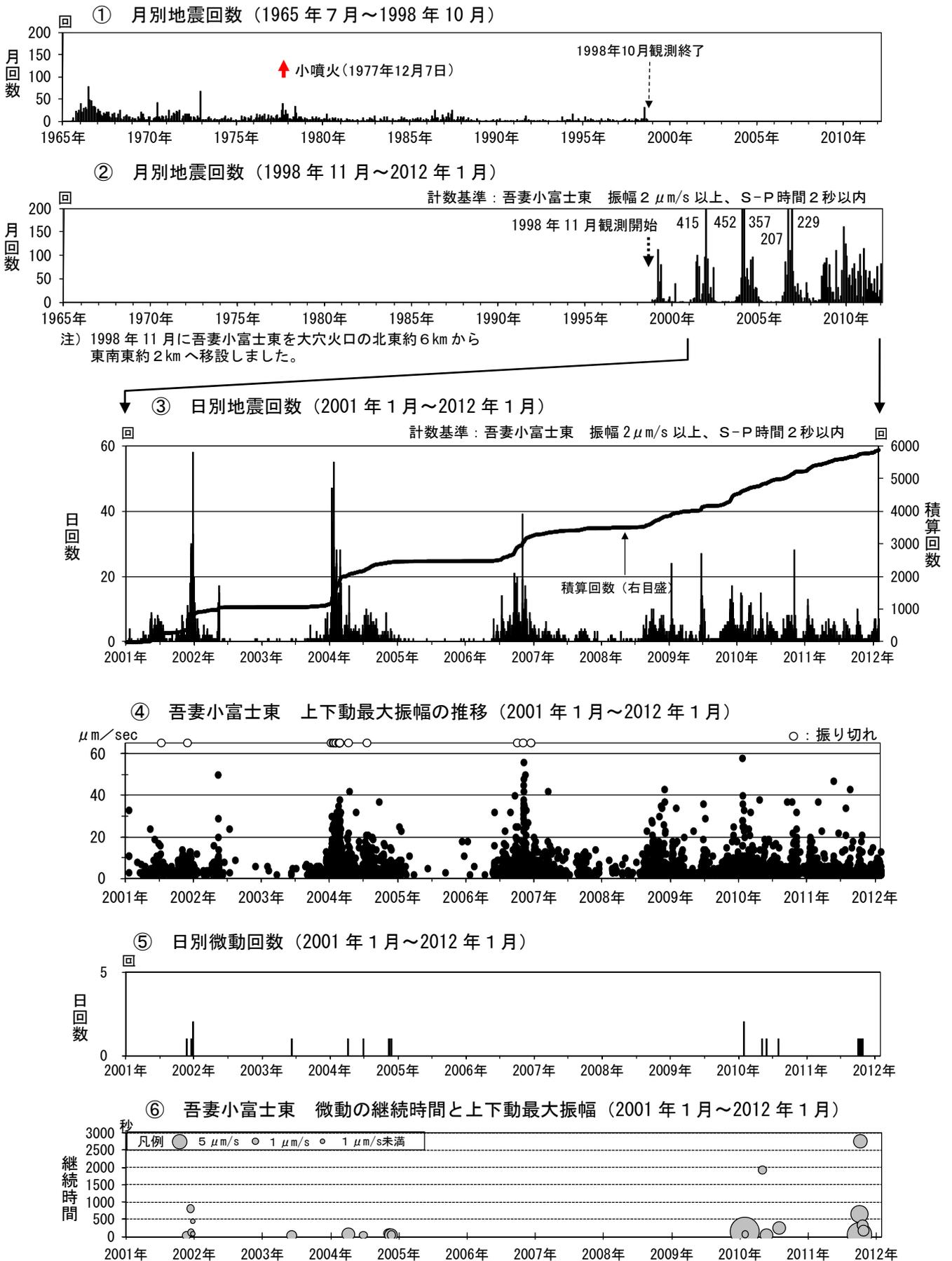


図4 吾妻山 地震活動経過図

・ 機器障害のため、2010年10月14～15日の日別地震回数は欠測です。

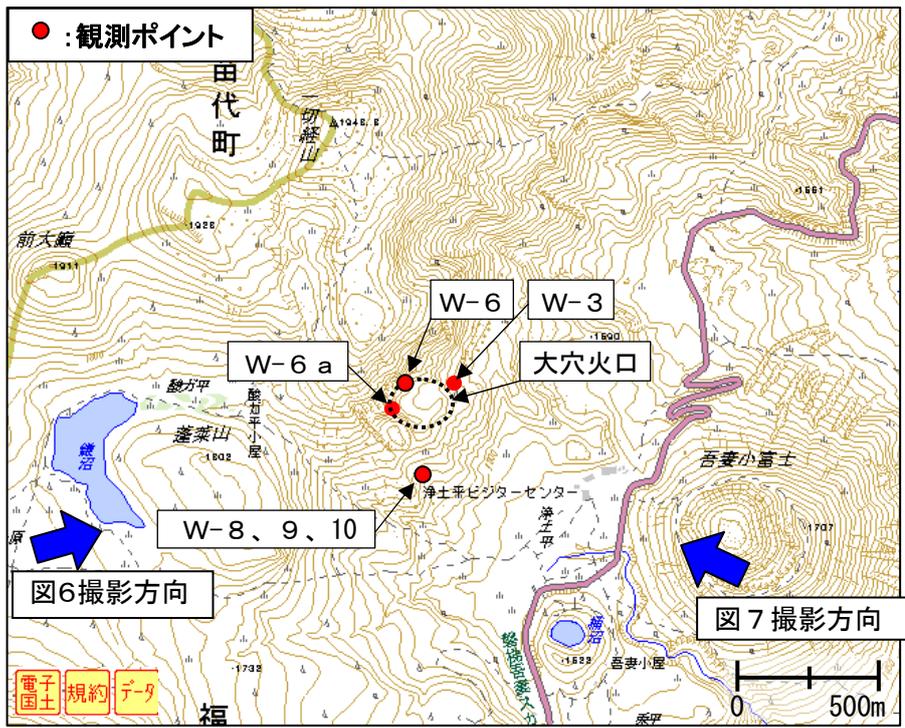


図5 吾妻山 観測ポイント及び図6～7の撮影方向

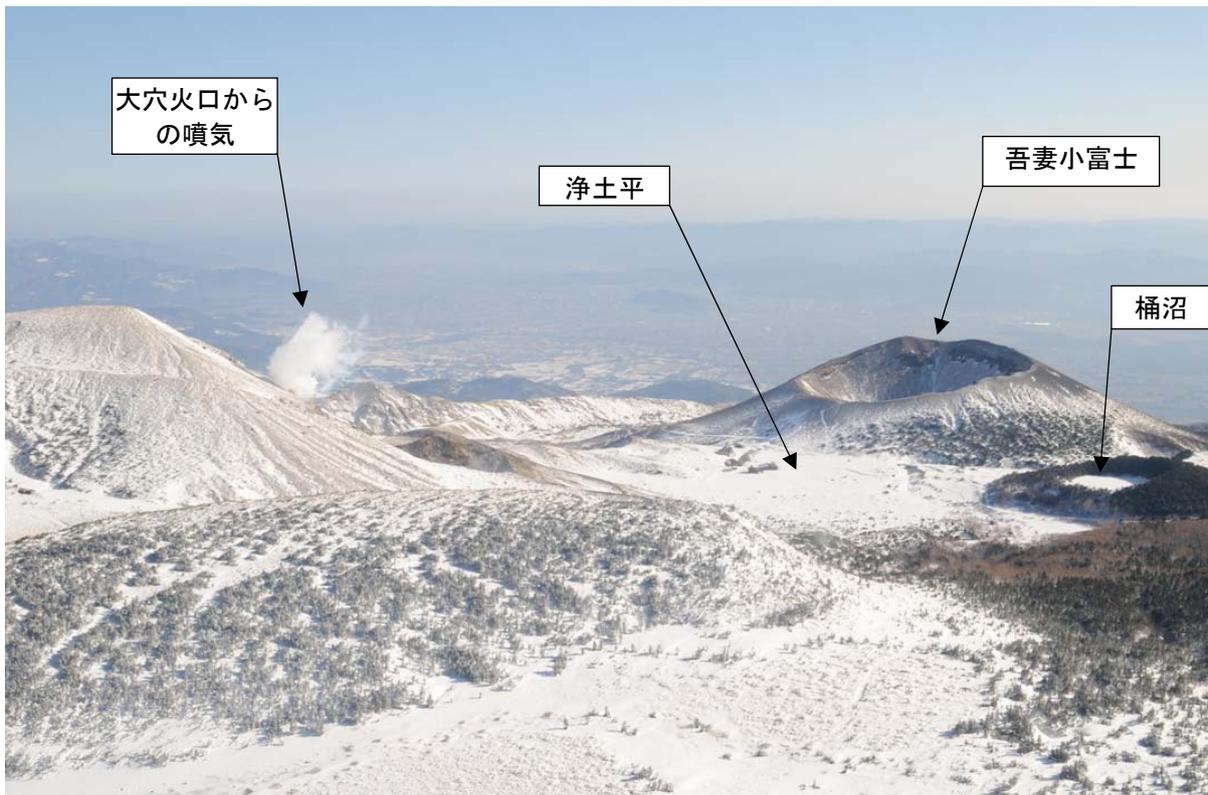


図6 吾妻山 浄土平周辺の可視画像 2012年1月18日撮影

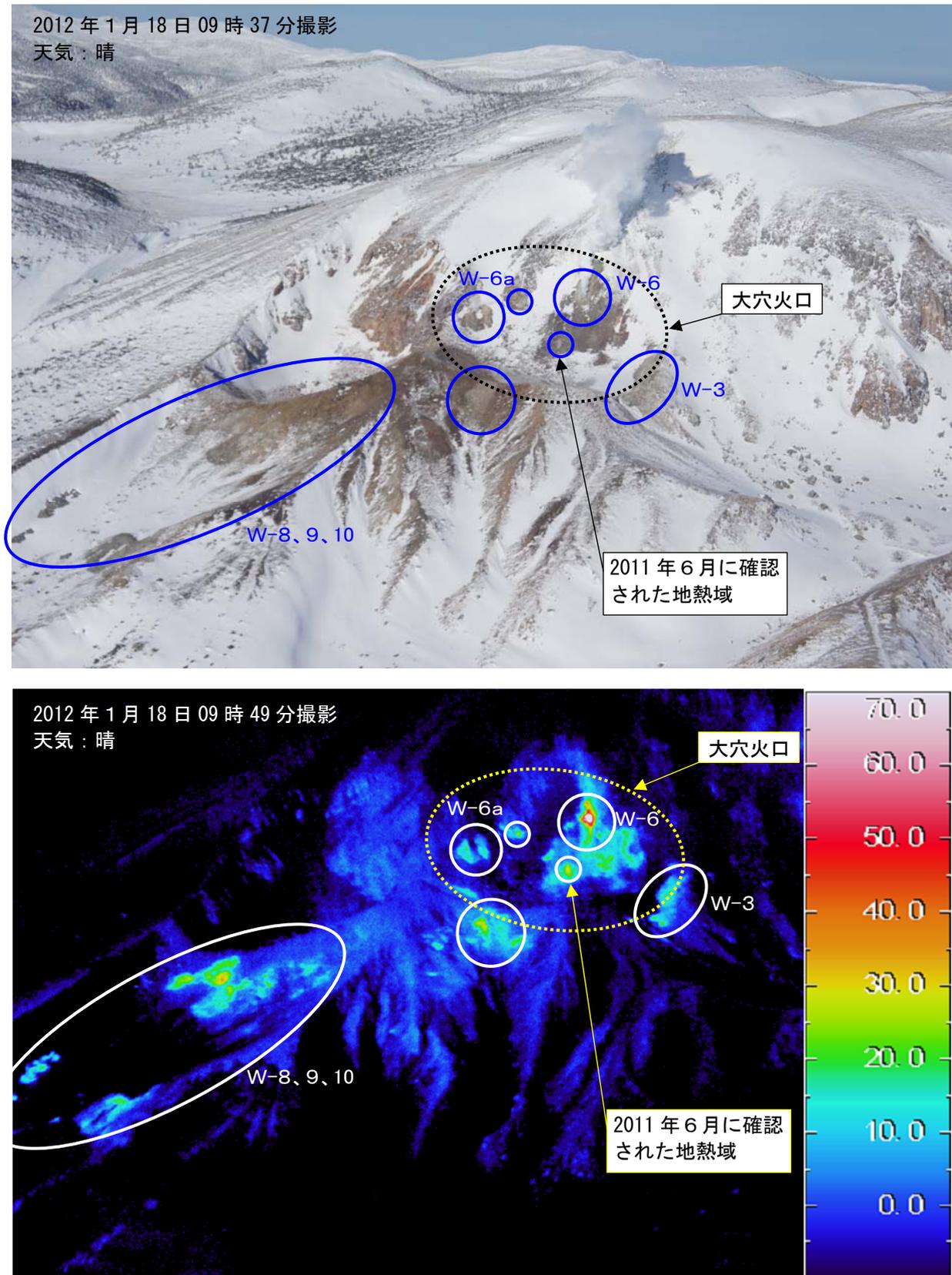


図7 吾妻山 大穴火口及び八幡焼付近の可視画像（上段）と地表面温度分布<sup>1)</sup>（下段）  
2012年1月18日撮影  
実線丸で囲んだ箇所がこれまでの現地調査で確認されている地熱域で、特段の変化はありませんでした。

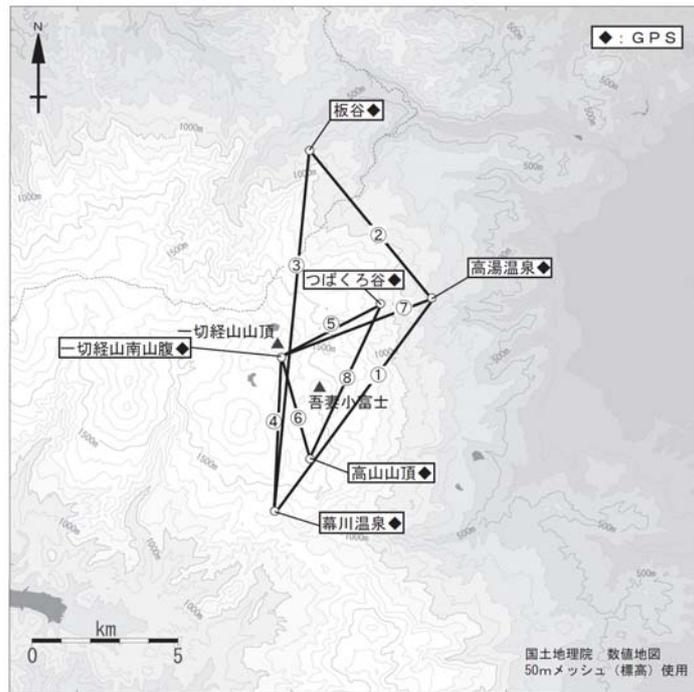


図 8 吾妻山 GPS 観測点配置図  
GPS 基線①～⑧は図 9 の①～⑧に対応しています。

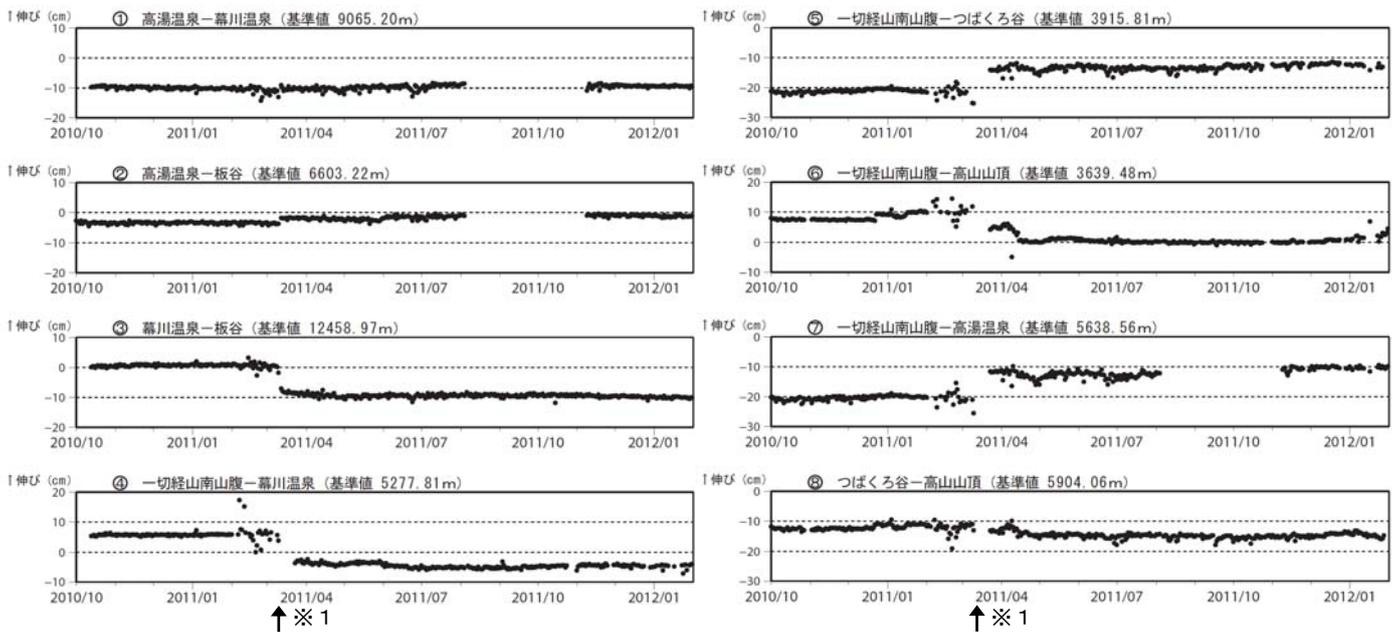


図 9 吾妻山 GPS 基線長変化図 (2010 年 10 月～2012 年 1 月)  
2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。また、掲載する基線を一部変更しました。  
①～⑧は図 8 の GPS 基線①～⑧に対応しています。  
グラフの空白部分は欠測を表しています。  
※ 1 : 2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響による